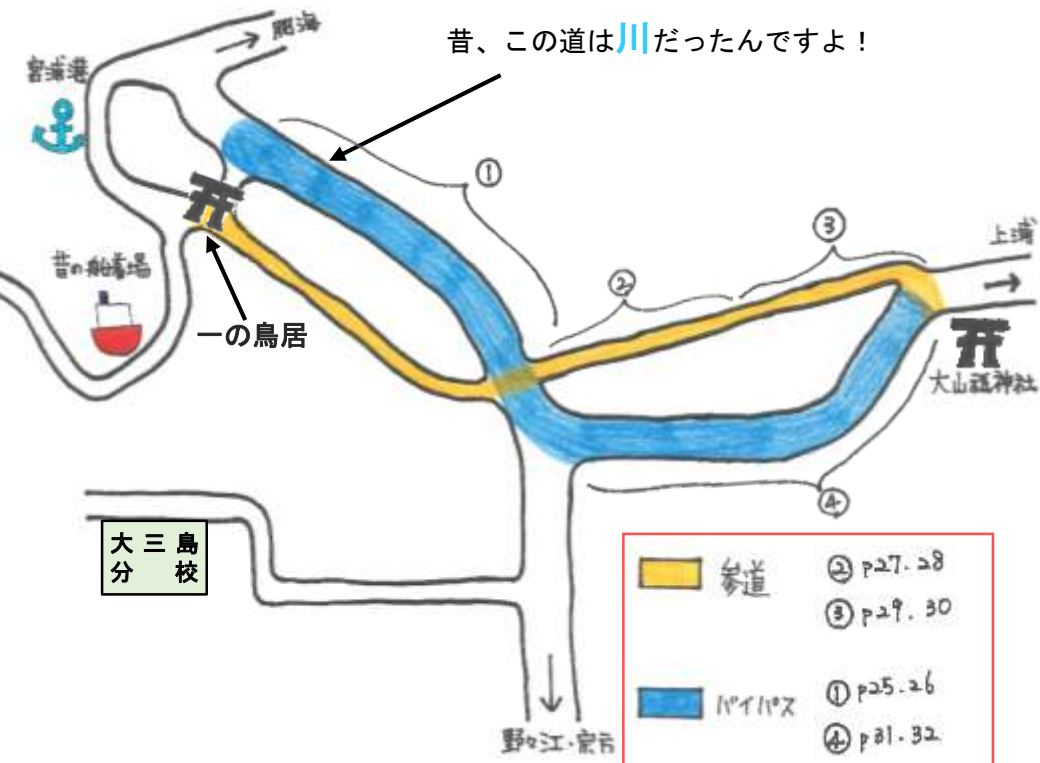


～宮浦散策～

宮浦には大山祇神社があり、大三島の中心地としてたくさんの観光客が訪れます。大山祇神社への参道の始まりは下のイラストにある「一の鳥居」です。かつて、島を訪れる人達は船で島に来て、一の鳥居をくぐって大山祇神社へ参拝していました。今では、バイパス通りからも参拝することができるようになりました。



これから紹介する「宮浦散策」では、私たち分校生の一番身近にある宮浦で普段から気になっていたお店や、魅力的な場所などたくさん紹介していきます。お店の方々に聞いた「大三島の好きなところ」も載せているのでぜひ読んでみてください！
また、参道の通りには歴史ある建物がたくさんあるので歩くだけでも楽しめます！ この地図を見ながら参道を歩いてみてはいかがでしょうか？

参道ガイド



参道ガイドとは昭和35年頃の新地の町並みや歴史を大三島分校の生徒がガイドするものです。イベントやツアーで来てくれた人たちに向けて行っています。分校生が作った新地地区のイラストマップを使ってわかりやすく楽しく説明しています。
新地とは宮浦地区にある地域のことで主に大山祇神社や商店街のある場所をいいます。そこは昔、大三島の門前町として栄えていたため、いろいろな歴史が残っています。その歴史を伝え、もっとたくさんの人に大三島のことを知ってもらうためにガイドをしています。

おすすめパワースポット！《生樹の御門》

大山祇神社の境内からさらに奥に進むと、神秘的な雰囲気を出した楠があります。これは樹齢2000～3000年とされ、愛媛県の天然記念物に指定されています。
根元の空洞が奥の院への参道となっているため、**生きている樹の門**ということから**生樹の御門**（いききのごもん）という名前で呼ばれています。
「洞の中を通ると長生きできる！」という言い伝えもあります。ここ最近パワースポットとしてたくさんの方が訪れています。大山祇神社で参拝した後には、ぜひ行ってみてください。



大三島分校ゆるキャラ
「芋子さん」

ガイドを希望する人は
大三島分校に電話してね！
☎ 0897-82-0030



大三島分校ゆるキャラ
「みしま君」